

【体育・小3・マット運動】

<授業のポイント>

ICT端末で撮影した映像を基に、グループで動作確認や振り返りを行うことは、技のポイントに気付いたり、技ができた時の感覚を振り返らせたりすることにとっても有効でした。

この授業（単元）で育成したい資質・能力

知識及び技能	思考力,判断力,表現力等	学びに向かう力,人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な技の動き方や技のポイント、練習の仕方を理解している。 ○基本的な回転技や倒立技ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な技の動き方や技のポイントを知るとともに、自分の力に合った課題を選んでいる。 ○技のコツやポイントを観察し合っていて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○技ができる楽しさや喜びに触れることができるよう、マット運動に進んで取り組もうとしている。

<本時のねらい>

グループやペアで互いの技を観察し合いながら、できる技やできそうな技を上達させようとしている。

ポイント① グループ活動をスムーズに行えるように、ICT機器の使い方や役割分担を明確にした。

授業の導入において、グループ活動の進め方や工夫した場の設定、技のポイントを掲示物で確認できることを伝えて練習を始めました。

手を着く位置を気を付けてやります。



A君は、今日は手を着く場所を気を付けたいと言ってたな。



手をしっかり足の間に着いてたね。



最後の決めがよくなると、もっときれいだね。

児童は自分たちの役割をしっかりと把握し、グループごとに練習に意欲的に取り組むことができました。できる技をもっと上手くできるように技のポイントを確認したり、動画から自分の課題に気付いたりすることができました。

ポイント② 対話が活性化するように、動作チェックでは注目すべき点(決め・脚・着地)や技のポイントについてヒントを与え、映像からわかったことやできた時の感覚を振り返らせた。

技のポイントを示した模造紙をホワイトボードに掲示した。その際、児童にわかりやすくなるように、感覚をつかみやすいような擬態語を提示した。

C1 : B君の開脚前転が上手になったね。
T : B君はどんなことに気を付けたのかな？

C2 : 足を着くときに、シュッと開くようにした。

T : 足を「シュッと」開いたから、しっかり起き上がったんだね。

脚がピンと伸びてるね。



【授業の振り返り】

動画を見ることにより、手をパッと開いたり、脚をピンと伸ばしたり、よくなった所を確認することができた。



できた時の感覚や友達のよさを、分かりやすく伝えられるようにICT端末で動作チェックをする中で、技のポイントや振り返りを短い言葉で端的に表すことができました。